

## 気象台一口メモ～暴風雪～

暴風雪とは、雪を伴った強い（非常に強い）風が吹くことです。降っている雪に加え、積もっている雪も風で巻き上げられてしまうことにより視界が真っ白となる、いわゆるホワイトアウトと呼ばれる現象が起こります。また、風で運ばれた雪が建物や車などでさえぎられた場所にたまる、吹きだまりが発生します。吹きだまりは車の運転が困難になり、住宅ではFF式暖房機等の給排気口がふさがれてしまい、一酸化炭素中毒を起こす危険性があります。

網走地方気象台では、暴風雪による災害が予想される際には、「暴風雪警報」や「暴風雪に関する網走・北見・紋別地方気象情報」を発表し、警戒を呼びかけます。「暴風雪警報」は現象の発生が予想される3～6時間前に発表しています。また気象情報では、より危険な状況が見込まれる場合、「見通しがまったくきかない猛ふぶき」や「車の運転が困難」などと想定される状況も伝えています。さらに、命にかかわるような危険な状況が迫ってきたときは「数年に一度の猛ふぶき」や「外出は控えてください」というキーワードを使った気象情報を危険な状況となる2・3時間前に発表しています。これらのキーワードを使った情報が発表されたときは無理な外出はせず、車を運転中であれば安全な場所で待機するなどしてください。

網走地方気象台ホームページでは、天気予報に加えて最新の雪の状況から今後の見通しなど幅広い情報を提供していますので、災害や事故の防止に利用してください。また、札幌管区気象台ホームページでは、暴風雪のリーフレットをご覧くださいので、暴風雪への備えにお役立てください。

問い合わせ先 網走地方気象台

(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



「暴風雪への備えリーフレット」  
はこちらから



2016年（平成28年）1月19日～20日の暴風雪による吹きだまりで埋もれた車両（気象台構内）